

【質問】私の父は脳梗塞で寝たきりになっています。食事が喉を通らなくなったので、医師に胃ろうを勧められています。胃ろうについて教えてください。

(50歳・主婦)

## 胃ろう

【回答】胃ろうとは、お

なかと胃に穴を開け、管を通して、管から胃に直接栄養分を送る方法です。脳梗塞や

脳出血、進行した認知症などのため、口から食べるのができなくなった患者や嚥下(えんげ)性肺炎を頻発する患者に対してつくります。胃力メラを使って胃ろうをつくる方法が一般的です。寝たきりの高齢者が増えていることから、長期の栄

## 医療制度



胃ろうが増えている背景には日本独自の医療事情があるようです。病院への長

よる肺炎を予防できます。患者は胃ろうをつけたまま動くことができ、QOL(生活の質)が維持できます。しかし日常的に胃ろうがつけられるようになり、問題が生じてきました。以前は脳血管障害などで食べられなくなった患者は自然な

# 管から直接栄養分補給

養管理が可能で患者の負担が少ない胃ろうを設けるケースが増えています。胃ろうに関する情報提供をしているNPO法人「PEGドクターズネットワーク」の

期の入院が難しくなっているため、在宅や療養病床、保健施設などに退院、転院しやすいように、病院が胃ろうに走りがちとなつてい

る面も否めません。胃ろうは栄養管理として優れた方法です。十分な栄養の補給が可能で、誤嚥に

## 長期の管理 家族に負担

りで嚥下ができるようになり、胃ろうを中止できることがあります。そうした例は少ないのが現状です。欧米では、胃ろうが患者の利益になっているという医学的根拠はないとの考え方があります。

長い間、胃ろうの管理を任される家族や介護関係者にも大きな負担がかかります。胃ろうをつくるか否かは患者自身の意思によるべきですが、多くの患者は意思の疎通ができないので、その決定は家族に委ねられます。メリットとデメリットについて医師と十分に相談してください。回復が見込めない場合に中止する指針作りも必要です。

(県医師会)